

問題 ('91 大阪大)

【難易度】…標準

放物線 $y = ax^2 - bx + b$ と直線 $y = a^2x$ を考える. この放物線と直線は 2 交点 P, Q をもち, P と Q の x 座標の差の絶対値は 1 であるという. ただし $a > 0$ とする. 放物線の一部である弧 PQ 上の点と直線の距離の最大値を d とする.

- (1) d を a を用いて表せ.
 (2) d を最大にする a と b の値を求めよ.

【テーマ】: 放物線と直線

方針

P, Q の x 座標をそれぞれ p, q とし, 解と係数の関係から p, q の関係式を求めます.

解答

- (1) 点 P, Q の x 座標をそれぞれ p, q ($p < q$) とすると, 題意より,

$$q - p = 1 \cdots \cdots \textcircled{1}$$

が成り立つ. このとき, p, q は

$$ax^2 - bx + b = a^2x \iff ax^2 - (a^2 + b)x + b = 0 \cdots \cdots \textcircled{2}$$

の 2 解であるから, 解と係数の関係より,

$$\begin{cases} p + q = \frac{a^2 + b}{a} & \cdots \cdots \textcircled{3} \\ pq = \frac{b}{a} & \cdots \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

が成り立つ.

次に, $y = ax^2 - bx + b$ 上の点 $(t, at^2 - bt + b)$ と $y = a^2x$ の距離を h とすると,

$$h = \frac{|at^2 - bt + b - a^2t|}{\sqrt{a^4 + 1}} = \frac{|a(t - p)(t - q)|}{\sqrt{a^4 + 1}} \quad (\because \textcircled{3}, \textcircled{4})$$

よって, h が最大となるのは, $t = \frac{p+q}{2}$ のときで, このとき,

$$\begin{aligned} d &= \frac{\left| a \left(\frac{p+q}{2} - p \right) \left(\frac{p+q}{2} - q \right) \right|}{\sqrt{a^4 + 1}} \\ &= \frac{a |(q-p)(p-q)|}{4\sqrt{a^4 + 1}} \\ &= \frac{a(q-p)^2}{4\sqrt{a^4 + 1}} \\ &= \frac{a}{4\sqrt{a^4 + 1}} \cdots \cdots (\text{答}) \quad (\because \textcircled{1}) \end{aligned}$$

- (2) (1) より, $d = \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{\sqrt{a^2 + \frac{1}{a^2}}}$ である.

$a > 0$ より, 相加平均・相乗平均の関係より,

$$a^2 + \frac{1}{a^2} \geq 2\sqrt{a^2 \cdot \frac{1}{a^2}} = 2$$

等号は、 $a^2 = \frac{1}{a^2}$ すなわち $a^4 = 1$ であるから、 $a > 0$ より、 $a = 1$ のとき成立する。このとき、② より、

$$x^2 - (b+1)x + b = 0 \iff (x-b)(x-1) = 0$$

よって、 $x = 1, b$ である。① より、

$$b - 1 = 1 \text{ または } 1 - b = 1$$

すなわち、

$$b = 2 \text{ または } b = 0$$

であるから、 d を最大にする a, b の値は、

$$(a, b) = (1, 0), (1, 2)$$

で、このとき d は最大値 $\frac{\sqrt{2}}{8}$ をとる。ゆえに、求める a, b の値は、

$$(a, b) = (1, 0), (1, 2) \cdots \cdots (\text{答})$$

◇ ————— ♡

解説

まずは、点 P, Q の座標を設定することから始めます。放物線と直線の交点なので、 p, q は 2 次方程式の 2 解であることがわかるので、解と係数の関係を利用しましょう。あとは、条件から式を作って、 d を求めます。 d が最大となるのは、放物線上の点における接線が直線 $y = a^2x$ に平行になるときであることを理解しておきましょう。 h の式変形ですが、③, ④ を用いて簡単に式変形しているように感じますがこれは、 p, q が ② の方程式の解であることを考えれば容易に解決します。つまり、 h の分子だけを見ると、

$$at^2 - bt + b - a^2t = 0 \text{ の 2 解が } p, q \text{ なので、} at^2 - bt + b - a^2t = a(t-p)(t-q)$$

と因数分解できるのです。